

おもいでの歌

昨夜 久しぶりにラジエで歌券箱が
 取れた。今回もラストだ
 往年の歌券、歌在も活躍しついで
 歌手
 その歌が流れるとその当時の自分
 を思い出す
 そんなことあった、こゝろ
 ともすべし
 ニヤヤ顔で笑った。た
 歌といふのは不思議だ。自分
 の過去をさうと
 出しつづける。自分の心を
 引き出しを知らせてい
 るようだ

中野夕如人地、のハナヲ契茶番
 幕

新雪の灰田晴彦、それか
 ういふと

新沼千とじの、ふゆに
 来る人か、おののこ
 ら

はなうかしり、おののこ
 の、睡々人、心、状、不

せりつと来る、歌は心
 を何か、す也る

四年ほど、新沼千とじ
 の、新曲を、おんる、た

毎日、うううに、歌、う、
 そ、の、こ、ろ、心、に、平、い、た、穴

さういふ、うううに、歌、う、
 い、た

さやかの香、朝もやの
 香、流、い、り、ん

すき通の、向、は、か、う、だ、り、
 す、り、り、り

かす日草の青さよー | さらばは今も昔も

縁別こつていよ海どけりいのに毎月預つてい

と今もすうくとるる

預り力つて二ん存に預るのたと知つて

秋石どの形貌が何中つていよのね 参りよ

預がするのね知らぬい

三じ才も四月かう香姐が参るよい

い川香姐が参るとい存々思つてい

2019
3/21